

2021 年度 日本生活学会事業計画

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

I. 事業活動

- 第 48 回総会・研究発表大会開催 2021 年 6 月 12 日 (土)、13 日 (日)
オンライン開催 (開催本部：慶応義塾大学三田キャンパス)
- 生活学プロジェクトの運営
- 生活学会コロナ特別研究委員会の運営
- 小川信子デジタル写真のデジタル保存委員会の運営
- 日本生活学会 50 周年記念事業検討委員会の運営

II. 役員会開催

1. 理事会 5 回 (6/12、7/17、10/16、1/15、4/16)
2. 『生活学論叢』 vol. 39、40 編集委員会
3. 今和次郎賞 2021 選考委員会
4. 日本生活学会研究論文賞 2021 選考委員会
5. 日本生活学会博士論文賞 2021 選考委員会

III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2021 年 6 月 「第 48 回研究発表大会梗概集」
- 2021 年 9 月 『生活学論叢』 vol. 39
- 2022 年 3 月 『生活学論叢』 vol. 40
- 日本生活学会メールニュースの配信

IV. 常置委員会活動

1. 総務委員会

委員長 野村知子

- (1) 総会、理事会他運営
- (2) 庶務・財務・会計の管理
- (3) 生活学論叢への学会記録掲載
- (4) 理事・監事選挙の運営

2. 学術委員会

委員長 石川初

- (1) 第 48 回日本生活学会研究発表大会をオンライン開催する。
- (2) 研究者の育成、支援の一環として、第 8 回の日本生活学会博士論文賞の募集を行う。
- (3) 今和次郎賞の選考方法とプロセス等について、再度、検討を行う。

3. 『生活学論叢』編集委員会

委員長 祐成保志

- (1) 『生活学論叢』第 39 号、第 40 号の刊行
第 39 号 2021 年 9 月発行予定
第 40 号 2022 年 3 月発行予定
- (2) 2021 年度、研究論文賞の選考を行う。

4. 事業委員会

委員長 笠井賢紀

- (1) 研究助成事業「生活学プロジェクト」については、第7回目を実施する。2021年6月に募集開始、7月末に採択プロジェクト決定、8月にプロジェクト開始、2022年1月末にプロジェクト終了、2月下旬成果報告、3月助成金精算というスケジュールで進めたい。
- (2) セミナー・シンポジウムの企画開催、他団体との交流、また会員による企画への後援・共催を、情報委員会および関連する特別委員会と協力し促進する。
- (3) 各種事業に対する状況確認・制度支援を行う。

5. 情報委員会

委員長 饗庭 伸

- (1) ウェブサイトの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (2) メールニュースの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (3) フェイスブックの運営 適宜会員向けの情報発信を行う。
- (4) 日本生活学会の 100 人 若手学会員等を対象にインタビューを行い、記事を作成してウェブサイトで開催する。2021 年度は 3 名の記事を作成する。

V. 特別委員会活動

1. 生活学会コロナ特別研究委員会

代表者 黒石いずみ

- (1) 2021 年学会大会で出された生活変化の把握と初発の問いの成果を集約し、生活学の既往研究のレビューと共に市販本として出版する。大会後は学会としての方向性をより明確化し、組織的な研究活動を行い、着実な研究成果を論叢に出版することと 2022 年度大会での発表を目指して活動する。

2. 生活学ヘリテージ・プロジェクト（小川信子名誉会員の写真のデジタル保存）

代表者 真島俊一

- (1) 小川信子名誉会員所蔵の日本生活学会初期の様子を記録したのも含む写真類のデジタル化を進め、会員等の活用に向けた公開を目指す。

3. 日本生活学会 50 周年記念事業検討委員会

代表者 有末賢

- (1) 日本生活学は、2022 年 9 月 29 日に設立 50 年の節目を迎える。2022 年中の記念事業実施を前提に、その具体的な内容を企画検討する特別委員会を 2021 年度中に設置し、事業準備の進展を図る。

以上